

季節にあわせたイベントを開催しました

公津の杜コミュニティセンターでは季節の風物詩などにあわせたイベントを開催しています。12月といえば、なんといってもクリスマス。前号42号でご紹介した図書館前のインスタレーションの他、3階わんぱくルームにクリスマスツリーを飾りムードを高めました。



12月15日には「手作りパン作り教室」を開催し、12名の参加者がリースの形をしたパンを作りました。小川京子さん指導のもと、生地を伸ばし編み込んでから型に入れ、パンを焼き上げました。その後、クッキーにアラザンやチョコペンでトッピングを施し、リースパンを仕上げました。完成したパンに参加者は自然と笑顔になり、大事そうに持ち帰りました。ご家族に自慢げに見せたのかなと想像できます。

12月21日には「クリスマスミュージックフェスタ」が行われました。第1部では成田市杜の少年少女合唱団がクリスマスにちなんだ曲を含む6曲を歌いあげました。また、地域の演奏家2組4名による連弾も披露されました。



第2部では千葉県出身のピアニスト殿内雄也さんが登場。殿内さんは2017年のクリスマスミュージックフェスタでも演奏しており、7年ぶり2回目の演奏となりました。クラシックの他にも邦楽・洋楽のクリスマスソングを織り交ぜながら、15曲を演奏し、観客を魅了しました。



1月12日には「ザ・お正月」を開催しました。お正月らしく和のものを行うということで、箏曲の演奏と寄席を行いました。箏曲の演奏は、成田国際高等学校 箏曲部にお願いし、12名の高校生によりお正月らしい「春の海」の他、聞き馴染みの

のある「Let it go」など4曲を演奏しました。寄席の高座に上がったのは、千葉大学落語研究会の学生3名。大学生らしいフレッシュがありつつも噺のツボを押さえた正月らしい演目に来場者からはとても好評でした。



2月3日のイメージがある節分ですが、今年は2月2日が節分でした。3階わんぱくルームでは、紙芝居「ふくわうち おにわうち」の読み聞かせの後、自分で色を塗った鬼のお面、立候補で決まった鬼役の2人に向かって豆をまきました。

木の香りを感じながら掘り進める！

1月12日から5週・5回にわたり工芸スタジオでは、「はじめての木彫講座」が行われました。彫刻家を講師として招き、基本の彫り方から学んでいき、今年の干支であるへびを完成させます。同じ材質の木材でも場所によって硬さが変わり、彫りやすさが変わってきます。そんな個性差や参加者の進行状況の差がありつつも、全員が当初計画していたよりも順調に作業をすすめていきました。余った時間を使いだるまさん作りにも挑戦しました。



料理初心者の男性でも簡単に作れる！

1月19日、2月9日と「男の料理教室」が行われ、9名が料理を学びました。公表前からいつあるのかとお問合せをいただくほど関心が高いことがうかがえました。1月19日は和食、2月9日は洋食を作りましたが、手際よく作られたため予想以上にはやく出来上がりました。栄養のバランスもよく、彩りよく美味しくあがった料理に参加者は満足気で自然と笑顔になっていました。今回は3人1組で調理しましたが、ご自宅では学んだことを1人で挑戦してほしいところです。



必要としている人に物資を届ける！

12月1日から19日、フードバンクを実施しました。フードバンクとは賞味期限や見た目等を理由に食べられるにもかかわらず、廃棄させてしまうものを必要な人に届ける活動です。貧困問題への援助のほか、SDGsの取り組みである食品ロス削減できる効果もあります。成田市社会福祉協議会が行っている活動に回収場所として協力しました。食品の他、日用品もご提供いただき、計27点が集まり社会福祉協議会の方にお渡ししました。



図書館だより

なかよしひろばだより

大きな活字で読みやすい大活字本

公津の杜分館には、通常よりも大きな活字で読みやすい大活字本のコーナーがあります(青 13 番の棚)。文字がかなり拡大されているので、視力が弱い方や高齢の方などで、読書がしづらく感じる方がいらっしゃったらお試しください。小説中心に約 300 冊あり、ニュータウンにある本館から取り寄せもできますので、読みたい作品があったら職員にご相談ください。

大活字本周辺棚図	
青11	日本の小説 ひ～み
青12	日本の小説 み～わ
青13	大活字本
青14	小説集 郷土
青15	今日返された本
青16	新しく入った本 展示
自動貸出機	コピー機 インターネットコーナー カウンター



体を動かす楽しさを体験しました

2月16日に MORI×MORI ホールで、東京女子体育大学講師の堀内亮輔先生をお招きして開催しました。ママパパの膝の上で子どもを揺らすふれあい遊びや、先生の掛け声で飛んだりしゃがんだりする遊びなど、たくさん体を動かしました。また、普段見慣れないパラバルーンとボールを使った遊びも、子どもたちはワクワクして楽しんでいました。3歳以上の子どもたちには柔道技を取り入れたふれあい遊びもありました。遊びをたっぷり楽しんだ後は、講師の先生からの「日常の遊びの大切さ」についてクイズや具体的な例を織り交ぜたミニ・レクチャーがあり、ママパパは関心を持って聞いていました。先生はどの親子も飽きさせることのない進行であったという間の1時間でした。



「公津公民館図書室」と「公津の杜分館」

公津地区には、公津の杜分館のほかに公津公民館図書室があります。公津公民館は宗吾霊堂に隣接した場所にあり、例年3月下旬には立派なしだれ桜が訪れる人を楽しませてくれます。「公津」(公津公民館図書室)と「公津の杜」(公津の杜分館)は名称が似ており間違えやすいのですが、どちらも市内共通の図書館カードで利用できます。

飛んだ距離を競う！折り紙ヒコーキ教室

1月18日(土)、2階 MORI×MORI ホールでは「JAL 折り紙ヒコーキ教室」が行われ、32名のパイロットが自分で折ったヒコーキをテイクオフさせました。普段 JAL に勤務されている方が指導員となり、折り方を一折りずつ丁寧に教えてくれました。同じ折り方なのに、折る具合や投げる時の力の入れ加減で飛ぶ距離が変わるのが不思議でなりません。



おまけの1枚

今年も正面入り口には立派な門松が飾られました。当館の運営協議会委員でもある小川新太郎さんに竹と松をご提供いただき、切出しから組み上げまでご協力いただきました。組み上げ中は実演という形で来館された方も見る事ができ、興味深く様子をうかがう方が多数見受けられました。



「綺麗になって帰ろう」を合言葉に！

12月18日(水)、2階会議室Dで「いきいき美容教室」を開催し、22名が参加しました。幅広い年齢の方に参加していただき、いくつになっても綺麗でいたいという熱い思いが見て受けられました。資生堂の方に講師をお願いし、スキンケア、ベースメイク、ポイントメイク、ヘアケア等を学びました。終了後、参加者は笑顔にあふれ充実した講座となりました。



編集後記

12号に書いたヒーローショーシアターに8年ぶりに来場。色々な物がパワーアップしており、目を見張りました。照明はこう使うのかという視点で見えてしまう職業病。唯一楽しめたのは、TVで演じている役者さん本人が登場するシーン。ミーハーなKでした。ちなみにその番組は見えていませんが笑(K)

ちょっと深い話。実家じまい…10年以上の課題だった。放置していたわけではなく、回避していた。定期的に草刈りや管理をしていたが、ついに実家じまいを行う決心をした。電気、ガス、水道も使える状態で家財もそのまま。後ろ髪を引かれる思いが満載であるが、前に進むしかないと考えている。(T)

公津の杜コミュニティセンター
(指定管理者 アクティオ株式会社)
発行人: 竹尾 裕之 編集: 鹿嶋 聡明
〒286-0048 千葉県成田市公津の杜4丁目8番地
TEL: 0476-27-5252 FAX: 0476-27-5353
E-mail: info-kozu@morinpiakozu.jp HP: http://morinpiakozu.jp/

もりんぴあ
こうづ
Morinpia Kozu